

宇宙につながると夢はかなう

(097)

●言葉の霊力を理解する

く人への言葉は自分に返ってくるく

人への悪口、批評、嫉妬、敵対心のある言葉を使っていると、宇宙の波動から遠ざかります。

「ありがとう」という言葉と「ばかやろう」という言葉を言い続けた水の結晶は、まったく違った形になるという研究があります。江本勝『水からの伝言』（波動教育社発行）。前者は雪の結晶のようなきれいな模様をつくり、後者は爆発したような不気味な形を描きます。

そのほか、「戦争」「爆弾」「競争」「嫉妬」などの言葉を見せた水は結晶をつくらぬという実験や、ありがとうという言葉をかけ続けたご飯は、普通のご飯よりも腐るのが遅いという研究など、言葉の波動が影響を与えることが証明されています。

悪口はもちろん、人をさげすむ言葉、下げる言葉、否定する言葉を使えば、あなたの波動は荒々しいものとなり、宇宙の情報を受信できる心地良い状態ではなくなるのです。

●人への言葉は、そっくりそのまま自分へ返ってきます。

あなたのまわりでいつも嫌味を言う人、なにか一言難癖をつける人、必ず斜めの方から意見をする人には、「あの人はいつも

一言多い」というまわりの人の意識が集まってきます。この時点ですでに、その人が使っている言葉と同じエネルギーが返ってきていることになりまずよね。

悪口を言う人に幸せが来ないのも同じ仕組みです。そのマイナスの波動を毎日浴びているのは、言っている本人なのです。

無意識のうちにねたみや競争の感情を持って言葉を発している人は、また誰かをねたまなくてはいけない状況になります。「こういう人は嫌い」と言い続けていけば、その波動を出し続けていることになるので、「自分の嫌いな人」をどんどんまわりに引き寄せてくるからです。

波動の法則で自分を憂鬱にさせる人が次々と現れ、本人はますますイライラした気持ちになっていくでしょう。

つまり、人へのマイナスの言葉を口にして不幸になるのは、言われた人ではなく言っている本人なのです。

言葉の持つパワーを理解してください。言葉は、たった一言で相手を嫌な気持ちにさせることもできれば、最高の気持ちにさせることもできるのです。

もし今あなたのまわりに、毎日会わなければならない「嫌な人」や「苦手な人」がいるのであれば、ためにあなたのほうから明るい言葉をかけてみてください。

●不愉快なものに意識を向けない

くわざわざ不安になることは考えないく

不安になって楽しくなる人はいません。

あなたが楽しくなくなることは、わざわざ考えなくていいのです。

あなたが明確にイメージしていることほど、それは現実になります。

意識には「良い、悪い」の判断がないので、あなたが不安なことや心配なことをイメージすればするほど、それが現実になるのです。

「心配する」ということは、一見その問題を解決するために考えていると思いますが、実は不安な気持ちが増えただけでちっとも解決策になっていない、ということがよくあります。それでも「解決するために考えている」と思い込んでいるのです。

たとえば、子供が「勉強しなくて困っている」と心配するとき、本来は、どうすればその子が勉強するようになるのかという方法を考えるべきなのに、「このまま勉強しないで成績が下がったかどうかしよう」とか「そうなると次はこうなって、ああなって、この子の将来は……」というマイナスの想像だけをして終わっていることがあります。そのイメージが具体的になってしまえば、その波動にふさわしい状況が実際に起こります。ですが、まさか自分のイメージが現実に影響しているとは思わないのです。

ゴルフをしているときに「あそこの池に入ったらどうしよう」と思うと、まるで吸い込まれるように入ってしまうということを、ゴルフプレーヤーであれば誰でも経験していると思います。逆に

「そこに池があったなんてまったく気付かなかった」というときは入りにくいのです。

水がたつぷりに入ったコップを小さな子供に運ばせるとき、ただ単純に「あそこに運んでね」と言うとかぼさずに運べるのに、「こぼすと大変だからこぼさないでね」と、「こぼす」に意識を向けた言い方をすると失敗する子供が増える、という実験があります。

けがをしたとき、「痛くて思うように動けない」とちよつと思っただけで気持ちは憂鬱になります。「ただのけがなのに」このまま治らなかつたらどうしよう」と思えば、自然と活発な気持ちはなくなるので運動不足になり、全体の血のめぐりが悪くなり、それが進めば体の他の部分まで調子が悪くなるでしょう。

ひとつの部分を中心して憂鬱になったことで、その波動に見合うこと（＝他の部分の不調）を引き寄せたのです。

あなたが「こうなりたくない」と思うことから、意識をそらしてください。

あなたが考えて不快になること（起きていないことへの不安、解決策のない心配事）は考えなくていいのです。

考えないというのは、その問題を放棄することとは違います。引き寄せるのをやめること、つまり、考えないことが結果的には一番の解決策なのです。

未来のことは、まだ起きていないことです。起きてもないのにそれをイメージしていたら、その気持ちを味わっているわけで

すから今、起きているのと同じです。

考えて気持ちがグーッとマイナスになり始めたら、「あ、考えなくていいんだった」とすぐに切り替えて、その分、あなたが考えるとワクワクする楽しいことに意識を集中させてください。

あなたの意識はあなたがコントロールできるものです。

●過去の思いを解放する

く消化しきれしていない思い、執着を手放すく

あなたには、いまだに引きずっている過去の思いはありませんか？

過去に経験した嫌な出来事を思い出したときに、今でもそのときの悔しさや悲しさ、怒りなどが当時のままにのみがえってくるようなことがあるのであれば、一度その感情としっかり向き合って、たまっているものを解放しておく必要があります。

怒りや悲しみの感情にふたをしておくと、時間がたつて忘れたつもりになっていても、いつか必ず噴出してきます。大きなトラブルや壁にぶつかるたびに思い出すでしょう。

逆に言えば、その感情を解消できていなかったからこそ、また似たようなトラブルが起きるのです。過去の思いにとらわれていると、それが知らない間にあなたの心の壁となって残ります。その執着やトラウマが解放されない限り、それが原因でまた同じようなことが起こるのです。

起こる内容はまったく違うものであっても、そこから感じるこ

とは「またあのときと同じだ」と感じるでしょう。

そのときにふたをした感情が原因で（トラウマになっていて、今のあなたが

自信をなくすことにつながっていたり、その分野になるとうまくいかないということになっている場合もあります。

過去のことはもう終わったことです。今思い出して憂鬱になったり、現在のあなたが影響を受ける必要はまったくありません。思い出して嫌な気持ちになるだけで心はマイナスの波動になり、その波動が似たような出来事を引き寄せ始めます。過去のことは、もう今のあなたにはなんの関係もないので、安心してください。

●掃除をして気の流れをよくする

くよんどんでいたものを流すと運はよくなるく

掃除をすると、すべてにおいて新しい動きがあります。長いあいだよんどんでいたもの、つまっていたものが流れるので、あなたが抱えているトラブルにも新しい動きが出るのです。

生活している場所にゴミ（不要なもの）が山積みになっていて流れが悪いと、

あなたのまわりに起こることの流れも悪くなります。あなたのまわりに起こることは、みんなつながっているからです。

体も、血流が悪くなると病気になるります。「つまり」や「滞り」は、すべてにおいて流れを悪くするのです。

逆に言うと、汚くてゴチャゴチャしているところをきれいにす

ると、あなたが抱えているゴチャゴチャした問題も整理され、解決策が見つかったり、タイミングのよいことが起こるなどして解決していきます。これは、見た目がきれいになって気持ちが悪くなる、という表面的な効果だけではありません。掃除と、抱えている問題の解決は関係ないように思えますが、全部つながっているのです。

神社やお寺をはじめ、神聖な場所とされているところは、例外なく清潔に保たれています。毎日掃除をして風を通し、流れを良くしています。

今抱えている問題に新しい流れが欲しいとき、行き詰まっているように感じるときは、そこを考えて憂鬱になったり不安になるのではなく、まず部屋を掃除してみてください。

掃き掃除、ふき掃除、いらないものの処分……自分のまわりのよどんでいるものをすべて流すつもりで徹底的に掃除を始めると、気分がすっきりしてくることに気付くはず。見た目がきれいになるからだけではなく、心の中が整理されたような気分になることに気付くでしょう。

●小さなことには「どっちでもいい」というゆとりを持つ

（どうでもいいことに過剰反応しない）
小さなことにイライラすると、そのたびに波動の質が下がります。

せっかく宇宙とつながる言動をしていても、日常の小さなこと

にいちいち心をざわつかせていては、意識がそのたびに中断されてしまうのです。

日常生活でイライラを感じるほとんどのことは、考えてみれば本当に小さなことがきっかけのはずです。

態度の悪い人にムツとさせられた、お店の人の対応がよくなかった、こちらの言うことが一度で通らなかった、注文したものと違うものが来た、自分の期待していた反応が相手から返ってこなかった、思いもかけないことを言われた、予定と違うことが起こった……こういうことが続けばたしかにムツとするかもしれません。が、どれも、あなたの人生が左右されてしまうほど大きなトラブルではありません。人生全体から考えたら、かなり小さなことでもいいことです。

ほとんどのことは影響されることのない「どっちでもいいこと」で、通り過ぎてしまえば、ただのひとつの出来事なのです。

ところが、はじめの小さなことに過剰反応すると、それが人生を左右するほどの大きなマイナスの出来事につながっていきま

す。
はじめのイライラをいつまでも引きずっていれば、その波動がマイナスのものを引き寄せ始めるからです。あなたの意識が長く考え続けていると、それは現実の世界に起こり続けます。でもあなたがはじめに過剰反応しなければ、「ただの出来事」で終わるのです。

どうでもいいことにいちいちまどわされて、心の波動を下げる

のはもったいないことです。今の人生で人間としての時間は一応限られているのですから、余計なことでイライラしている暇はありません。もっと、あなたが楽しいと思えること、考えてワクワクする夢に時間を使ってください。

宇宙につながると夢はかなう フォレスト出版

浅見 帆帆子